

決算をお知らせします

当健康保険組合の平成22年度決算が去る7月13日に開催された組合会において承認され、決定いたしました。

■平成22年度は7期ぶりの黒字決算

当健康保険組合の経常収支は平成15年度以来7期ぶりの黒字決算となりました。

黒字の大きな要因は、保険料率を引き上げたこと、および昨年夏の賞与水準が大きく貢献したためであり、これによる保険料収入は前期比15・8億円の大幅な増収となりました。

■高齢者医療制度への納付金等は不可抗力な支出

高齢者医療制度への支出は、平成20年度に導入された国の新制度によるもので、健保独自の努力で減らすことはできません。また、平成22年10月より納付金の算出方法が変わり（加入数者割から1/3を総報酬割の導入、さらに今後は全額総報酬割の導入を検討中）、今後はさらに負担が重くなることが予想されています。

平成23年度は全1,447健保組合（平成23年4月1日現在）の4割が保険料率を引き上げたにもかかわらず、9割の健保が赤字予想（全体で6,089億円）であり、その一番の要因は納付金の負担増によるものです。

一方、保険給付費につきましては、私たちの努力で減らすことが可能です。薬を安価なジェネリック医薬品に変える、不要不急の時間外受診や重複受診をしない、健診をきちんと受けて健康を維持する等、できることはいろいろあります。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

経常収支は

8億9,013万円の黒字に

収入合計

88億187万円

支出合計

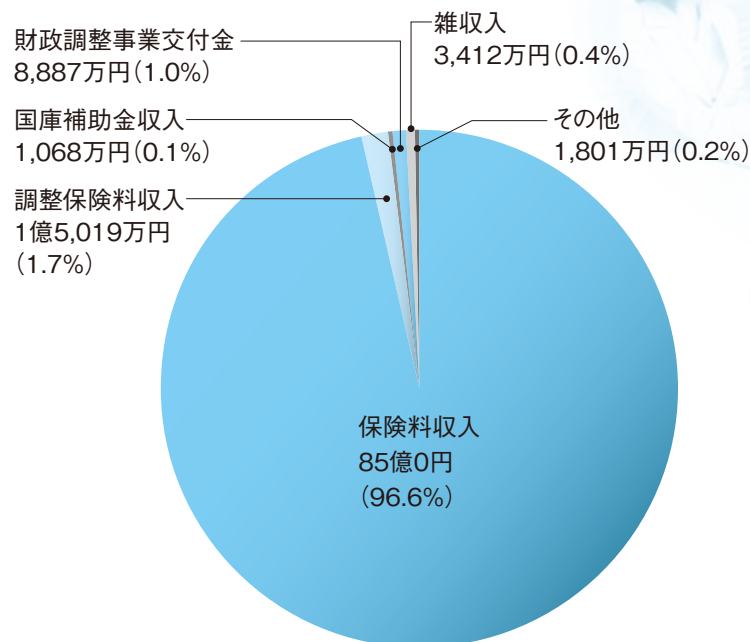
78億408万円

収入支出差引額

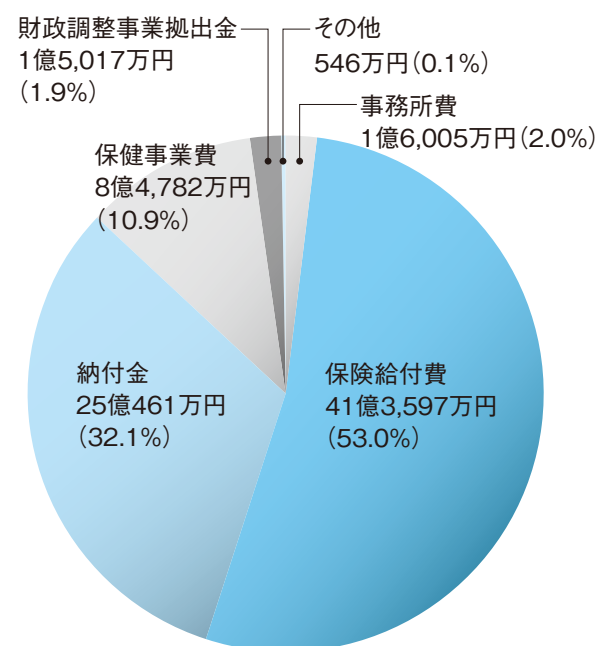
9億9,779万円

一般勘定（健康保険）

収入



支出



決算の基礎数値（一般勘定）

総加入者数	31,240名
被保険者数	16,288名
標準報酬月額	447,695円
被保険者平均年齢(特退被保険者除く)	37.47歳
健康保険料率	75/1000

介護勘定

収入合計

5億7,690万円

支出合計

5億1,806万円

収入支出差引額

5,884万円

財産保有状況

(一般勘定)	
準備金	17億3,400万円
別途積立金	18億2,569万円
その他財産	2,903万円
合計	35億8,872万円
(介護勘定)	
準備金	9,906万円

おもな収入

●保険料収入
被保険者の皆様（グループ役職員、任意継続被保険者、特例退職被保険者）と事業主から納めていただいた保険料です。

●国庫補助金収入
特定健診・特定保健指導の実施等において、国に代わつての健保事務執行に対する補助金です。

●財政調整事業交付金
高額な医療費が発生したときに、各健保から拠出された資金の中から交付されます。

おもな支出

●保険給付費
加入者皆様の医療費や各種給付金（出産、傷病等）のために支払った費用です。年々増加しております。

●納付金
75歳以上が加入する後期高齢者等、高齢者医療制度を支えるために拠出している費用で、保険給付費同様、年々増加傾向にあります。

●保健事業費
定期健診や人間ドックを始めとした各種健診、インフルエンザ予防接種の補助費用、特定保健指導等、当健保組合加入者皆様の疾病予防や健康づくりのための費用です。